

個人間取引における信頼の性質

要旨

氏名：石田 仁美

1. 主題と研究背景

本論文では、ピアトゥピア市場に代表される個人間取引に焦点を当て、信頼の判断基準が取引条件によってどのように変化するかを実証する。その背景には見知らぬ者同士の信頼を基盤とするシェアリングエコノミーの興隆・拡大があり、基盤となる信頼の性質を実証することは大きな意義を持つと言える。

2. 研究手法

本研究では、アンケートを用いた実証分析を行い、異なる取引条件下で信頼の判断基準となり得る情報の重要度を 5 段階で評価した。集計結果を student の t 検定によって分析し、有意差のある項目について考察した。

3. 成果と今後の課題

本研究では 2 つの成果が得られた。1 つ目は異なる条件下における信頼の判断基準の具体的な差異を明らかにしたことだ。2 つ目は情報提供に関わるコストが最大となる取引条件を明らかにしたことだ。詳細は本文を参照されたい。又、本研究ではその分析結果から、情報提供に関わるコストを固定費用と捉えることを提案し、固定費用の高い取引条件を有すプラットフォームの優位性を検討することを今後の課題として挙げている。